

「2020年度春季研究発表大会」のお知らせ

更新：2019/12/20

第29回 国際P2M学会 研究発表大会 The 29th Congress of International P2M Association

「デジタル・トランスフォーメーション（DX）を加速するP2M」

2020年度の国際P2M学会春季研究発表大会を、下記の要領にて開催いたします。大会テーマは、「DXを加速するP2M」です。つきましては、会員の皆様の研究発表を募集いたします。発表ご希望の会員は、申し込み要領をご参照の上、期限までにお申込みください。また本大会は、午後に予定しています基調講演・パネルディスカッションのみの一般参加も受け付けております。奮ってご参加ください。

1. 大会テーマ

「デジタル・トランスフォーメーション（DX）を加速するP2M」

2. 開催日時・場所

- ・開催日 : 2020年4月25日（土）
- ・開催場所 : 千葉工業大学 津田沼キャンパス 7号館4階
〒275-0016 千葉県習志野市津田沼 2-17-1
- ・受付開始時刻・場所 : 9:30、7号館4階
- ・懇親会 : 千葉工業大学 津田沼キャンパス 1号館20階
- ・最寄駅 : JR 総武線／津田沼駅 《南口》徒歩1分
京成線／京成津田沼駅下車 《北口》徒歩10分
新京成線／新津田沼駅下車 徒歩3分
- ・アクセスマップ : <http://www.it-chiba.ac.jp/institute/access/tsudanuma/>
- ・キャンパスマップ : <https://www.it-chiba.ac.jp/institute/campus/tsudanuma/>

3. 開催団体に関する情報

- ・主催 : 一般社団法人 国際P2M学会（※）
- ・会長 : 国際P2M学会会長 山本秀男
- ・実行委員長 : 千葉工業大学社会システム科学部 教授 関 研一
- ・実行副委員長 : 千葉工業大学社会システム科学部 教授 小笠原 秀人

※一般社団法人 国際P2M学会

国際P2M学会事務局

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター(平日：10時～17時)

TEL: 03-6824-9371/FAX:03-5227-8631

4. 大会趣旨

企業活動においては、新しいデジタル技術によって既存のビジネスから脱却し、新たな価値を生み出すためのデジタル・トランスフォーメーション（DX）の取り組みが加速しています。昨今は、不確実性の増大が経済の見通しを困難にし、また、気候変動を初めとした様々な変化が世界規模で起こっています。国内では、あらゆる人が質の高いサービスを受けられる社会を目指し、日本が世界に先駆けて実現すべき将来像として Society5.0 のビジョンが掲げられています。このように、人々の生活を様々な視点で良い方向に変化させるための根本的な変革が多方面で模索されており、都市のこれからのあり方なども今後変化していくことでしょう。

DX 実現の 3 本柱としては、ビジネスモデル、業務プロセス、顧客体験が挙げられています。これは、DX を加速するうえで、企業の経営活動のみならず、労働環境の変化や、市民の社会活動、公共分野も含めた、幅広い変革のアクションが重要になることを意味しています。すなわち、DX によるパラダイムシフトの実現には、企業の在り方や人々の生活を変化させるための複数・異種のプロジェクトを並行して行うプログラムマネジメントが必須であり、P2M の役割と期待は益々大きくなっていくものと思われます。

以上の観点から、本大会では DX と P2M の関連性について様々な視点から議論し、今後、国際 P2M 学会が果たすべき役割と方向を明らかにする場にしたいと思えます。会員の皆様の、積極的なご発表、ご参加を心よりお願い申し上げます。

5. 大会スケジュール：※ 都合により、変更される場合があります。

(9:30) -12:00	研究発表（午前の研究発表プログラムは、2020 年 4 月中旬頃決定予定）
12:00 - 13:00	昼食休憩
13:00 - 13:25	総会（学会員のみ）
13:25 - 13:30	休憩
13:30 - 13:50	会長挨拶 開催校挨拶 千葉工業大学 社会システム科学部長 教授 井上明也 氏 発表奨励賞の発表（授賞式は懇親会にて）
13:50 - 14:40	基調講演 1
14:40 - 15:30	基調講演 2
15:30 - 16:20	基調講演 3
16:20 - 16:30	休憩
16:30 - 17:50	パネルディスカッション
17:50 - 17:55	閉会挨拶（実行委員長）
17:55 - 18:10	移動
18:10 - 19:50	懇親会

6. 基調講演

講演 1：（仮題）「新しい令和時代の社会設計手法（New P2M Principles）」

講師：吉田邦夫 氏 国際 P2M 学会名誉会長、東京大学名誉教授

講演 2：「デジタルトランスフォーメーション推進の国内外動向と政策展開」

講師：和泉憲明 氏 経済産業省 商務情報政策局 情報産業課 企画官

講演3：「未来都市の創発とアーバンデジタルトランスフォーメーション」

講師：西山敏樹氏 東京都市大学 都市生活学部 准教授、
同総合研究所未来都市研究機構生活研究ユニット長

7. パネルディスカッション

テーマ：「DXにおけるP2Mとは」

モデレータ：

小笠原秀人氏 千葉工業大学社会システム科学部 教授

パネリスト（順不同）：

和泉憲明氏 経済産業省 商務情報政策局 情報産業課 企画官

上條英樹氏 TDC ソフト(株) 執行役員

中谷多哉子氏 放送大学 情報コース 教授

西山敏樹氏 東京都市大学 都市生活学部 准教授

8. 研究発表大会参加費関連

◆ 大会参加費：事前に下記学会の銀行口座宛にお振込下さい。（締切 2020年4月8日（水））

会員：社会人学生、発表代表者：10,000円 【当日払い：11,000円】

：学生・大学院生（会員）：3,000円 【当日払い：4,000円】

非会員：社会人：13,000円 【当日払い：14,000円】

：学生・大学院生：5,000円 【当日払い：6,000円】

※予稿の筆頭著者（当日の発表者）は、国際P2M学会会員に限られます。当学会に未加入の方は、遅くとも2020年3月23日（月）までに入会手続きを済ませてください。新規入会には、上記参加費とは別に、正会員が12,000円（入会金2,000円、年会費10,000円。社会人学生を含みます）、学生会員が6,000円（入会金1,000円、年会費5,000円）、必要となります。通常の入会時の年会費は、入会手続きをした時点での年会費として取り扱いますが、春季大会での発表を機に入会される方に限り、4月1日以降の新年度分の年会費として取り扱います。尚、入会費の振込み先はホームページ及び入会申請フォームに記載の「ゆうちょ」口座になります。大会参加費振込口座とは異なりますのでご注意ください。

入会手続きの詳細は、学会ホームページから、こちらをご覧ください

→ <http://www.iap2m.org/accept.html>

◆ 午後の部（13:30～17:55）のみの参加費：学会員、非会員とも：3,000円

注. 予稿集（USBメモリ）と大会パンフレット（印刷物）のセットを希望される方には、別途、2,000円で販売致します。参加申込時にその旨ご記入下さい。

◆ 懇親会費：4,000円 【当日払い：5,000円】

上記大会参加費と合わせて学会銀行口座に事前振込下さい。

◆ 振込み先銀行口座（大会参加費・懇親会費）

三井住友銀行（銀行コード：0009）

飯田橋支店（店番号：888）

普通預金 口座番号：7098073

口座名義 一般社団法人 国際P2M学会

※大会参加申し込み Web 画面で「領収書 ●必要」を選択した方には、大会開催後、領収書(PDF)をメールで送付いたします。

◆ 留意事項

※ 振込済みの参加費・懇親会費は不参加の場合でも返金できません。

※ 事前振込み以外の方で、4月18日以降参加キャンセルされる方には、後日、懇親会参加費全額をお支払い頂きます。あらかじめご了承ください。

9. 参加申し込み方法

◆研究発表大会参加申し込みはこちらから（注. 発表者も、申込み登録が必要です）

http://www.iap2m.org/regist_taikai.html

◆参加登録に関する参考情報

お使いのブラウザが Internet Explorer の場合、バージョンが新しいと無応答になる場合があります。次の操作を参考にしてください。

<http://www.iap2m.org/pdf/ie201309.pdf>

10. 発表者への要旨及び予稿投稿に関するご案内

◆ 要旨の投稿期限及び方法

投稿期限 : 2020年2月17日(月)24時(厳守)

投稿方法 : 要旨は、次の URL から、web 登録画面に従い入力して下さい。

http://www.iap2m.org/regist_smallcongress.html

査読選択 : 予稿論文の審査を希望される方は、査読希望「●有」を画面上で選択してください。尚、採択後の論文の学会誌掲載料は 30,000 円です。

スライド形式のみの予稿も歓迎します。但し、その場合、査読は選択できません。

◆ 予稿の投稿期限及び方法

投稿期限 : 2020年3月23日(月)24時(厳守) ※締切後の投稿は一切受け付けられません。

投稿方法 : 要旨投稿時に登録されたメールアドレス宛に、後日、編集委員から「予稿投稿方法」に関するメールが届きます。それに従い、PDF 形式の予稿を投稿してください。

◆ 受付メール確認のお願い

要旨及び予稿投稿後各1週間以内に、編集委員より受付メールを登録アドレス宛に送信します。

「@iap2m.org」のドメインから届くメールが、迷惑メールフォルダに入らないように設定してください。万が一、着信しなかった場合は、下記学会事務局宛にお問い合わせ下さい。

国際 P2M 学会事務局 http://www.iap2m.org/regist_p2moffice.html

◆ 査読希望者へ :

当学会では、予稿が査読論文として審査されます。

頁数 : 最大 20 ページ

論文形式 : 投稿規程を遵守してください。

論文投稿規程 : http://www.iap2m.org/pdf/IAP2MSubmissionGuideline_191220.pdf

書式サンプル : <http://www.iap2m.org/file/sample.doc>

補足 : 予稿に P2M との関連性と関連参考文献を明記願います。

当学会の過去の論文誌は、J-stage から閲覧できます（最新号は会員のみ閲覧可）。
（→http://www.iap2m.org/pdf/201611jstage_1.pdf）

- ◆ 発表方法 : 発表者は、プレゼン資料を USB メモリに保存の上、当日持参して下さい。
（事前に送付しないで下さい。事務局では、事前にお預かりいたしません。）
発表者個人のパーソナル・コンピュータをご持参頂き、使用されても構いません。
但し、プロジェクタとの接続インターフェースは、HDMI または RGB です。
MAC の場合は、これらに接続可能な変換アダプタをご持参下さい。
- ◆ 発表時間 : 発表 15 分以内、質疑応答 5 分
投稿された論文数によって発表時間等は変動する可能性があります。
詳細は 4 月中旬以降に学会ホームページ上で発表しますので、ご確認ください。
- ◆ 発表奨励賞 : 各発表トラックから発表奨励賞の表彰者を選出し、表彰します。

1 1. お問い合わせ先

国際 P2M 学会事務局 http://www.iap2m.org/regist_p2moffice.html